



～向学 自立 友愛～

文責: 校長 曾我 展治

全国学力・学習状況調査の学校生活調査

先日、全国学力・学習状況調査で実施した学校生活調査の結果が公表されました。この調査は、こどもの学習習慣や自尊感情、人間関係、地域との関わり、学校生活について実態を把握するために実施されました。調査結果から、学校や家庭、こどもの意識をよりよい方向へ改善し、よりよく生きていくための社会的な資質や能力を高めることが大切なことがわかりました。

令和8年度 学校生活調査 (全国学力学習状況調査〔生徒質問紙〕経年比較) 【左: R7.11月 右: R8.6月】

◎学習習慣について		1学年	2学年	3学年	全校平均	全国平均	全国差
3 (32)	授業では、自分で考え、自分から進んで課題解決している。	79.7	80.3 → 83.9	59.5 → 75.3	74.7 → 79.4	78.8	0.6
4 (7)	将来の夢や目標をもっている。	71.9	77 → 77.4	64.9 → 74	74.2 → 74.4	67.7	7
6 (17)	平日、1日どのくらい家庭学習をする。 (塾等の時間も含めて) 4・・・2時間以上 3・・・1時間以上、2時間未満 2・・・30分以上、1時間未満 1・・・30分未満	46.9	39.3 → 43.5	28.4 → 34.2	46.5 → 41.2	61.7	-20.5
◎自尊感情・規範意識・人間関係・地域との関わり		1学年	2学年	3学年	全校平均	全国平均	全国差
18 (11)	人の役に立つ人間になりたいと思う。	92.2	91.8 → 95.2	93.2 → 91.8	93.4 → 93.0	95.8	-2.8
21 (5)	自分には、よいところがあると思う。	73.4	65.6 → 80.6	78.4 → 82.2	77.3 → 78.9	84.0	-5.1
23 (27)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	60.9	77.0 → 75.8	64.9 → 71.2	72.7 → 69.3	72.3	-3

上記の表は、学校生活調査の中でも特徴的な数値を示した内容を抜粋したものです。まず、3(32)の内容については、数値が全国平均を上回っており、本校のこどもが授業において自分で考え、自分から進んで課題解決しようとしていることが伺えます。しかし、6(17)の内容については、全国平均を大きく下回っています。本校のこどもの学力向上のためには、多くの努力をしていかないといけないことが伺えます。この結果から、こどもの授業に対する意欲は高いので、しっかりと家庭学習を行うことが、学力を向上させる鍵といえます。また、4(7)の内容については、全国よりもとても高い数値を示しています。1学期の終業式においても、将来の夢や目標をかなえるためには、学力を上げることが大切であるという話をしました。加えて、学力を向上させることが自分の将来や夢を叶えるためにとても大切であるという話をしました。是非、ご家庭でもこどもの明るい未来のために家庭学習をする習慣を身につけさせていただきたいと思います。次に、21(5)の内容については、大きく全国平均を下回っています。これは、成功体験や他者から認められる経験が少ないために、自分に自信をもつことができていないこどもが多いことを示しています。しかし、数値を見てみると全国平均よりは低いものの、経年変化においては、少しずつ自分の良さを感じることができているこどもが増えていることがわかります。今後も学校の中でこどもが自分に自信をもつことができる

教育活動を推進して参ります。また、8（11）と23（27）の内容については、とても低い数値を示しました。こどもたちが人として、よりよい成長をしていくためには、人の役に立ちたいと思う意識や地域や社会をよりよくしていきたいと思う気持ちをもつことがとても大切になります。今後は、地域貢献活動やボランティア活動の経験を通して、こどもが人や郷土のために役に立ちたいと思える心を育て参ります。

2学期始業式の校長あいさつ

皆さんおはようございます。長いようで短かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。校長先生は、1学期の終業式で自分の将来のために、夏休みはしっかりと学習に取り組んでほしいという話をしました。しっかりと校長先生の話聞いて自分ごととして捉え、多くの人が頑張ってくれたのではないかと考えています。他にも、あいさつや話を聞く姿勢、拍手の話などをしました。この3点については、これからさらに磨きをかけて、宇美南中学校の良き伝統にしていってください。1学期の皆さんの成長を目の当たりにした校長先生としては、さらなる期待しかありません。さて、2学期は、お互いに高め合い、お互いの心に温かさやエネルギーを与えられる学期にしてほしいと考えています。そこで校長先生からは、次の心がけをお願いしたいと思います。感謝の気持ちを多くの人に届けてほしいということです。実は感謝の気持ちは、伝える側にも受け取る側にも大きなメリットがあります。伝える側のメリットは、前向きに物事を捉える能力が高まることです。また、日々のストレスに対する脳のレジリエンス（回復力）が高められ、感情的な安定を保つ効果があると言われています。さらに、幸福感や満足感が得られ、受け取る側との信頼関係や絆が深まるとも言われています。受け取る側のメリットは、ストレスの軽減や自分の良さがわかり自信がつくとも言われています。自分が価値ある存在であると認識できるようになる。また、やる気の向上や学習や部活動への熱意や学校や仲間のために自分が何かの役に立ちたいという意欲が向上するとも言われています。感謝の気持ちをもち、相手に感謝を伝える文化を宇美南中学校に根付かせることができれば、どの学校よりも自分自身、そして、仲間が成長できると思います。生徒会や学年や学級を取組として、是非、感謝の気持ちをもち、伝える文化を広げていきましょう。1学期に、みなさんがしっかりできるようになったあいさつや話を聞く姿勢、気持ちのこもった拍手などの成長した姿の上に、感謝の文化が根付いていけば、さらによりよくなった宇美南中学校を体感することができるところでしょう。これを実現するには、南中の生徒1人1人の意識次第です。全員で感謝の気持ちであふれる宇美南中学校を作っていきましょう。2学期の終業式で校長先生があいさつをするときに、幸福感や満足感が実感でき、仲間との絆が深まったと言えるように、みんなで感謝の輪を広げていきましょう。

【10月の行事予定】

10月	1日（木）	IBAテスト	21日（水）	試験取組学活・ビブリオバトル
	2日（金）	学校生活アンケート・小中合同挨拶運動	26日（月）	WEBQUアンケート
	5日（月）	合唱コンクールリハ・PTAあいさつ運動	27日（火）	PTA役員会
	7日（水）	専門委員会	30日（金）	小中一貫教育研究発表会
	9日（金）	文化発表会		
	19日（月）	生徒会役員選挙公示		

